

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

| 科目名(副題) | 開講年次(セメスター) | 単位 | 担当者名 |
|--|--------------------|----------------------------------|------|
| 論文指導演習 I | 1年次春学期 (1セメスター) | 2 | 銭佑錫 |
| 授業概要 | | | |
| 本演習は、修士学位論文の完成を目標とするものである。修士論文の完成に向けて、既存文献の輪読・ディスカッションおよび解説で構成される。必要に応じて、修士2年次対象の論文指導演習Ⅲと合同で演習を行う予定である。なお、適宜、論文作成の進捗状況報告と討議のための発表会を行う。 | | | |
| 授業目標(到達目標) | | | |
| 学術論文の作成要領を習得することができる。 | | | |
| 授業方法 | | | |
| 受講者には毎回指定されたテキストを読んで疑問点・論点を提出することが課題として課される。講義は、それらの疑問点・論点に基づく全員参加型のディスカッション形式と教員による解説が併用される形で行われる。発表者の報告者の発表内容を基にディスカッション、指導、を行う。 | | | |
| 成績評価方法・基準 | | | |
| 発表会の評価50%、講義への参加度(発言、質問など)50% | | | |
| 教科書・教材・参考文献 等 | | | |
| その都度、提示する。 | | | |
| 質問への対応(オフィスアワー等) | | | |
| オフィスアワー(場所・時間についてはALBOを参照)、電子メール(アドレスは初回の授業で通知)、で対応する。 | | | |
| 授業計画 | | | |
| | 項目 | 内容 | |
| 1 | オリエンテーション | 論文とは何か | |
| 2 | 修士論文プロポーザル発表会 | 2年次の修士論文プロポーザル発表会へ参加(論文指導演習Ⅲと合同) | |
| 3 | 修士論文プロポーザル発表会 | 2年次の修士論文プロポーザル発表会へ参加(論文指導演習Ⅲと合同) | |
| 4 | 修士論文プロポーザル発表会 | 2年次の修士論文プロポーザル発表会へ参加(論文指導演習Ⅲと合同) | |
| 5 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 6 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 7 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 8 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 9 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 10 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 11 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 12 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 13 | 中間成果発表会 | 論文作成の進捗状況の報告・指導(論文指導演習Ⅲと合同) | |
| 14 | 中間成果発表会 | 論文作成の進捗状況の報告・指導(論文指導演習Ⅲと合同) | |
| 15 | 中間成果発表会 | 論文作成の進捗状況の報告・指導(論文指導演習Ⅲと合同) | |
| 履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習) | | | |
| 指定されたテキストを事前に熟読してくる必要がある。 | | | |

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

| 科目名(副題) | 開講年次(セメスター) | 単位 | 担当者名 |
|--|--------------------|-----------------------------|------|
| 論文指導演習Ⅱ | 1年次秋学期 (2セメスター) | 2 | 銭佑錫 |
| 授業概要 | | | |
| 本演習は、修士学位論文の完成を目標とするものである。修士論文の完成に向けて、既存文献の輪読・ディスカッションおよび解説で構成される。必要に応じて、修士2年次対象の論文指導演習Ⅳと合同で演習を行う予定である。なお、適宜、論文作成の進捗状況報告と討議のための発表会を行う。 | | | |
| 授業目標(到達目標) | | | |
| 学術論文の作成要領を習得することができる。 | | | |
| 授業方法 | | | |
| 受講者には毎回指定されたテキストを読んで疑問点・論点を提出することが課題として課される。講義は、それらの疑問点・論点に基づく全員参加型のディスカッション形式と教員による解説が併用される形で行われる。発表者の報告者の発表内容を基にディスカッション、指導、を行う。 | | | |
| 成績評価方法・基準 | | | |
| 発表会の評価50%、講義への参加度(発言、質問など)50% | | | |
| 教科書・教材・参考文献等 | | | |
| その都度、提示する。 | | | |
| 質問への対応(オフィスアワー等) | | | |
| オフィスアワー(場所・時間についてはALBOを参照)、電子メール(アドレスは初回の授業で通知)、で対応する。 | | | |
| 授業計画 | | | |
| | 項目 | 内容 | |
| 1 | 中間成果発表会 | 論文作成の進捗状況の報告・指導(論文指導演習Ⅳと合同) | |
| 2 | 中間成果発表会 | 論文作成の進捗状況の報告・指導(論文指導演習Ⅳと合同) | |
| 3 | 中間成果発表会 | 論文作成の進捗状況の報告・指導(論文指導演習Ⅳと合同) | |
| 4 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 5 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 6 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 7 | 2年次修士論文中間発表会 | 2年次修士論文中間発表会へ参加(論文指導演習Ⅳと合同) | |
| 8 | 2年次修士論文中間発表会 | 2年次修士論文中間発表会へ参加(論文指導演習Ⅳと合同) | |
| 9 | 2年次修士論文中間発表会 | 2年次修士論文中間発表会へ参加(論文指導演習Ⅳと合同) | |
| 10 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 11 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 12 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 13 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 14 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 15 | 修士論文テーマ発表会 | 修士論文のテーマの発表 | |
| 履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習) | | | |
| 指定されたテキストを事前に熟読してくる必要がある。 | | | |

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

| 科目名(副題) | 開講年次(セメスター) | 単位 | 担当者名 |
|--|--------------------|----------------------------|------|
| 論文指導演習Ⅲ | 2年次春学期 (3セメスター) | 2 | 銭佑錫 |
| 授業概要 | | | |
| 本演習は、修士学位論文の完成を目標とするものである。修士論文の完成に向けて、既存文献の輪読・ディスカッションおよび解説で構成される。必要に応じて、修士1年次対象の論文指導演習Ⅰと合同で演習を行う予定である。なお、適宜、論文作成の進捗状況報告と討議のための発表会を行う。 | | | |
| 授業目標(到達目標) | | | |
| 学術論文の作成要領を習得することができる。 | | | |
| 授業方法 | | | |
| 受講者には毎回指定されたテキストを読んで疑問点・論点を提出することが課題として課される。講義は、それらの疑問点・論点に基づく全員参加型のディスカッション形式と教員による解説が併用される形で行われる。発表者の報告者の発表内容を基にディスカッション、指導、を行う。 | | | |
| 成績評価方法・基準 | | | |
| 発表会の評価50%、講義への参加度(発言、質問など)50% | | | |
| 教科書・教材・参考文献 等 | | | |
| その都度、提示する。 | | | |
| 質問への対応(オフィスアワー等) | | | |
| オフィスアワー(場所・時間についてはALBOを参照)、電子メール(アドレスは初回の授業で通知)、で対応する。 | | | |
| 授業計画 | | | |
| | 項目 | 内容 | |
| 1 | オリエンテーション | 論文の書き方について | |
| 2 | 修士論文プロポーザル発表会 | 修士論文プロポーザルの発表 (論文指導演習Ⅰと合同) | |
| 3 | 修士論文プロポーザル発表会 | 修士論文プロポーザルの発表 (論文指導演習Ⅰと合同) | |
| 4 | 修士論文プロポーザル発表会 | 修士論文プロポーザルの発表 (論文指導演習Ⅰと合同) | |
| 5 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 6 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 7 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 8 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 9 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 10 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 11 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 12 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 13 | 1年次中間成果発表会 | 1年次中間成果発表会へ参加(論文指導演習Ⅰと合同) | |
| 14 | 1年次中間成果発表会 | 1年次中間成果発表会へ参加(論文指導演習Ⅰと合同) | |
| 15 | 1年次中間成果発表会 | 1年次中間成果発表会へ参加(論文指導演習Ⅰと合同) | |
| 履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習) | | | |
| 指定されたテキストを事前に熟読してくる必要がある。 | | | |

2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

| 科目名(副題) | 開講年次(セメスター) | 単位 | 担当者名 |
|--|--------------------|-----------------------------------|------|
| 論文指導演習Ⅳ | 2年次秋学期 (4セメスター) | 2 | 銭佑錫 |
| 授業概要 | | | |
| 本演習は、修士学位論文の完成を目標とするものである。修士論文の完成に向けて、既存文献の輪読・ディスカッションおよび解説で構成される。必要に応じて、修士1年次対象の論文指導演習Ⅱと合同で演習を行う予定である。なお、適宜、論文作成の進捗状況報告と討議のための発表会を行う。 | | | |
| 授業目標(到達目標) | | | |
| 学術論文の作成要領を習得することができる。 | | | |
| 授業方法 | | | |
| 受講者には毎回指定されたテキストを読んで疑問点・論点を提出することが課題として課される。講義は、それらの疑問点・論点に基づく全員参加型のディスカッション形式と教員による解説が併用される形で行われる。発表者の報告者の発表内容を基にディスカッション、指導、を行う。 | | | |
| 成績評価方法・基準 | | | |
| 発表会の評価50%、講義への参加度(発言、質問など)50% | | | |
| 教科書・教材・参考文献 等 | | | |
| その都度、提示する。 | | | |
| 質問への対応(オフィスアワー等) | | | |
| オフィスアワー(場所・時間についてはALBOを参照)、電子メール(アドレスは初回の授業で通知)、で対応する。 | | | |
| 授業計画 | | | |
| | 項目 | 内容 | |
| 1 | 1年次中間成果発表会 | 1年次の中間成果発表会に参加(論文指導演習Ⅱと合同) | |
| 2 | 1年次中間成果発表会 | 1年次の中間成果発表会に参加(論文指導演習Ⅱと合同) | |
| 3 | 1年次中間成果発表会 | 1年次の中間成果発表会に参加(論文指導演習Ⅱと合同) | |
| 4 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 5 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 6 | 既存文献のサーベイ | 既存文献の輪読・ディスカッション・解説 | |
| 7 | 修士論文中間発表会 | 修士論文の中間報告・ディスカッション・指導(論文指導演習Ⅱと合同) | |
| 8 | 修士論文中間発表会 | 修士論文の中間報告・ディスカッション・指導(論文指導演習Ⅱと合同) | |
| 9 | 修士論文中間発表会 | 修士論文の中間報告・ディスカッション・指導(論文指導演習Ⅱと合同) | |
| 10 | 修士論文発表会 | 修士論文の報告・ディスカッション・指導 | |
| 11 | 修士論文発表会 | 修士論文の報告・ディスカッション・指導 | |
| 12 | 修士論文発表会 | 修士論文の報告・ディスカッション・指導 | |
| 13 | 修士論文発表会 | 修士論文の報告・ディスカッション・指導 | |
| 14 | 修士論文発表会 | 修士論文の報告・ディスカッション・指導 | |
| 15 | 修士論文発表会 | 修士論文の報告・ディスカッション・指導 | |
| 履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習) | | | |
| 指定されたテキストを事前に熟読してくる必要がある。 | | | |